

2025年度

ニチキッズ柏の葉キャンパス保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年2月2日（月）～3月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年3月18日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、一人ひとりへの関わりの理解を深め、個々の特徴を知り一緒に楽しむ事を心がけながらおもいっきり保育することができた。子ども達の考える力を引き出すため、問いかけてみることでそれぞれ答えを見つけられるように全職員で促せた。
子どもの発達援助	子ども達の興味、関心や成長に合わせた保育計画を立案し、目の前の事だけにとらわれず、柔軟に保育ができるように意識した。日々の保育を振り返りながら、子ども達への声かけの工夫や対応の仕方を身につけていく。
保護者に対する支援	連絡帳や朝夕の送迎時に子ども一人一人の様子について積極的にお伝えした。また子育ての相談にも丁寧に傾聴し、アドバイスすることを心がけるよう努めた。こまめにその日の保育活動の写真を掲示したり、タブレットで室内の保育の様子を動画撮影して観ていただく事もできた。今後も保護者様の気持ちに寄り添い保護者支援をしていく。
保育を支える組織的基盤	外部研修に参加することで専門性を学び、他園との情報交換を行い、新しい知識を得ることができた。自園に持ち帰り、研修内容の共有をすることでこれからも保育の質の向上に努めていく。

総評
子どもたちに何が一番必要であるか、また、望ましい保育とはどんな事かを常に考えながら、試行錯誤をして職員の連携を取りながら行ってきました。職員間では、日頃から声掛けをしながら保育をすることで子どもたちには良い影響があることが感じられ、それにより個々に寄り添う保育を行うことが出来た。次年度に向けては、明るい職場環境を崩さず、引き続き丁寧な保護者対応に努め、子どもたちが「明日も保育園に行きたい。」と楽しみにできる園作りをしていくことで保護者の方々には安心に繋げていきます。